

【8月のテーマ】 てがたん樹木検定・夏編

案内人：竹本周平・湯瀬一栄（鳥の博物館市民スタッフ）



▲手賀沼の水辺に生えるメタセコイアの木。

身近な樹木には様々な種類があり、花をつける時期や実の大きさや形なども多様です。一見すると同じように見える葉っぱでも、よく見ると種類ごとに違いがあります。

今日ではてがたんコースで見られる代表的な樹木を観察し、それぞれの葉の違いを見てみましょう。

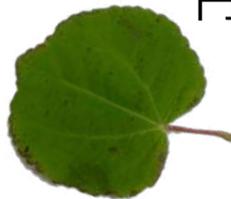
2021年8月14日（土）

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地では、マナーを守って観察しましょう。

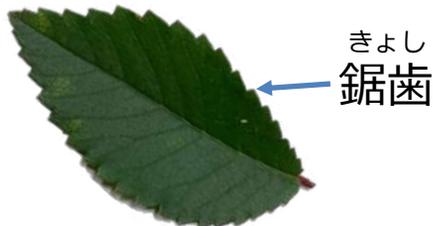
見分け方のポイント

- ・ 葉っぱの形は？
- ・ 縁はギザギザ？
- ・ 葉のつきかた
- ・ 葉の厚さ
- ・ 葉には毛がある？

円形の葉



ギザギザした葉



葉のつきかた



樹木検定

身近な木を5種覚えよう！

ツバキ



★葉が厚い・ツヤあり

ケヤキ



★鋸歯あり・互生

ナンテン



★羽状複葉・葉が尖る

メタセコイア



★針形・縁がなめらか

カツラ



★丸い葉・対生

樹木検定 最後に名前を当ててみよう！

①
②
③
④
⑤